

第2回

大阪協会大物名人戦

2012. 11. 25 (SUN)

昨年度から始まった大阪協会大物名人戦。昨年に引き続き、今年も鳥取県境水道にて開催されました。大物名人戦のエントリー資格者については協会HPの「大物名人戦」の項を見ていただくとして、開会式が開催される境港市夢みなと公園には、協会の錚々たる大物釣り師が集まりました。大阪協会は毎年、連盟で大物申請数の上位につけますが、その屋台骨を背負って立つメンバーが集まったわけです。その中でもさらに傑出した大物師の栄冠をかけて、約12時間の戦いが繰り広げられます。さて、どんな大物が仕留められてくるか、以下、第2回大物名人戦の報告でお楽しみください。

受付および開会式



夢みなと公園に集まった大物釣り師の皆さん。
クラブごとに受付が行われます。



数々の大阪協会の精鋭を率いる、協会のボス、池田協会長のご挨拶。
「皆さん、しっかり大物を釣ってください。」



ボスの勅命(?) (笑)を真剣に聞く参加メンバーの皆さん
「はは一つ、ボス、かしこまりました!!」
大物ゲット魂にスイッチが入りました(笑)



続いて、大物事務局長の湯浅さんより、大会のルール説明が行われました。湯浅さんは自ら昨年度の第1回大物名人戦で優勝されています。連覇なるか?!



出発順のくじびきです。上野本部事務局長が持つ
バツカンからくじを引いていきます。



やったー、1番くじだっ！！
「フッフッフ、これでこの勝負はいただきだなっ。」



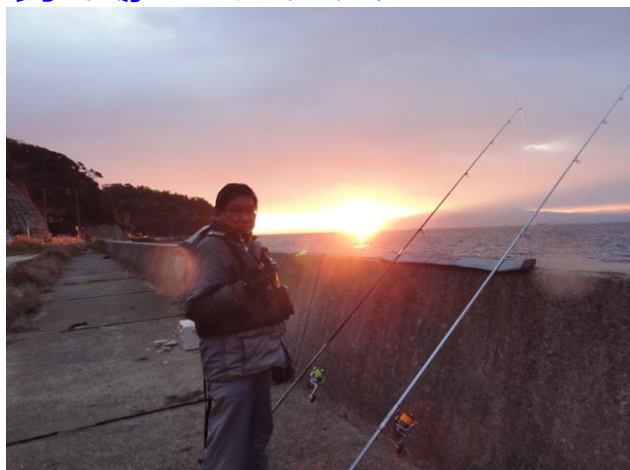
あらま！ 滋賀投友会のメンバーは、くじ運が悪い？
きっと、日ごろの行いでしょう(笑) それでも、この
余裕の笑顔はさすがっ！

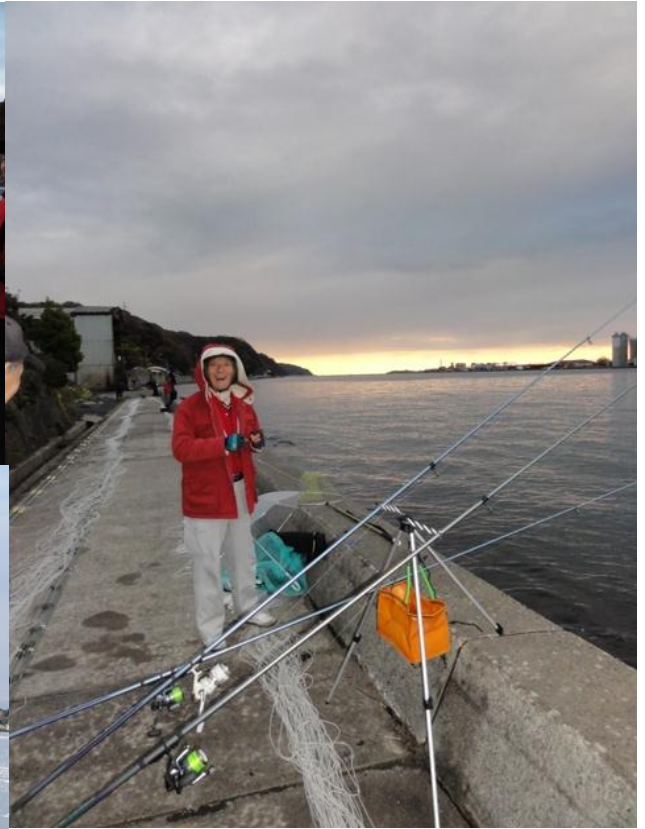


僭越ながら、文章責任者の私めは、2番くじをいた
だきました。何か良いことが起こるかも？！

いよいよ、釣り場に向けて出発！！

釣り場でのスナッフ







そして、いよいよ審査です

さて、どんなお魚が提出されるでしょうか？









当日は朝方に少し雨がパラついたものの、絶好のコンディションに恵まれ、多数の大物提出が期待されました。個人的な感想としては、もう少しカレイが釣れてもよかったのでは？と思いました。スズキの大物は多数提出され、その他、ヒラメ、マゴチ、クロダイなど、多彩な大物が顔を出してくれました。



S割の計算をする、滋賀投友会の片岡さんと北斗サーフの有光さん。実は、今回の審査の中で、これが一番面倒な作業なのです。二人とも、お疲れ様でした。



皆で協力して、審査カードの整理。大阪協会のメンバーは本当に仲が良く、面倒な作業も皆で和気藹々とできます。手前ミソですが、チームワークの良さでは、他の協会には負けていないと思っています。

表彰式です



さて、第2回名人戦を制するのは…？！



この優勝トロフィーを手にするのは…？！



滋賀投友会の野口雄士さん！！

ヒラメ56.4センチ（S割0.940）スズキ61.7（S割0.726）で

堂々の優勝！！



第2位は貝塚サーフの大内秀夫さん

クロダイ46.5センチ (S割 0.845)
 シロギス23.1センチ (S割 0.660)



**第3位は滋賀投友会の井上こぶ・・・
 いや、井上輝美さん**

スズキ69.2センチ (S割 0.814)
 シロギス23.1センチ (S割 0.660)



上位3名の方の揃い踏みです

おめでとうございます！！



最後に、釣れた大物を手に記念撮影をしました。

こうして、第2回大阪協会大物名人戦は幕を閉じました。上位3名の方は、来年の第3回大物名人戦のシード権を得られました。他の方もまた来年、数々の大物を仕留めて、この大物名人戦に参加できるように頑張りましょう。もちろん！！ 私も頑張りまっせ～(笑)

文責 北斗サーフキャスティングクラブ
矢野 圭延